

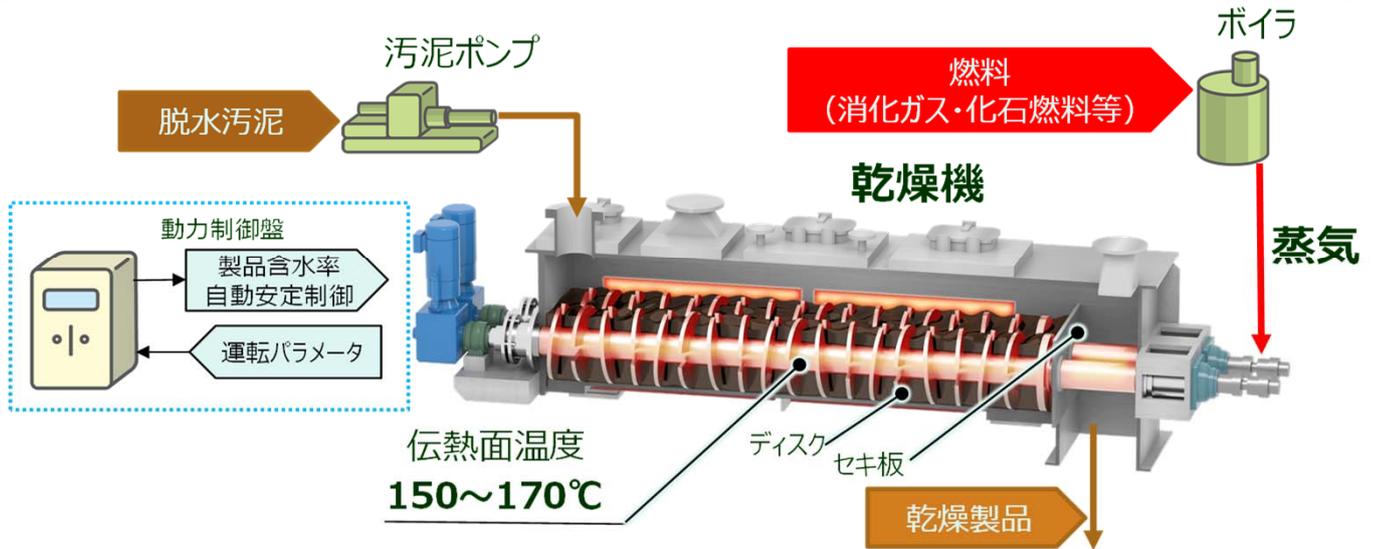
I 類

汚泥の集約に対応した乾燥処理を実現!!

— 汚泥性状変動対応型蒸気乾燥システム —

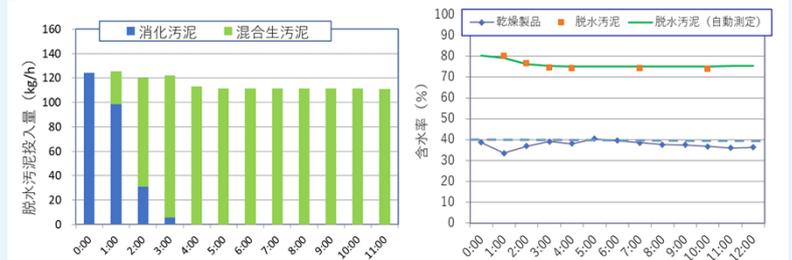
技術選定を受けた者：水ingエンジニアリング(株)

広域化・共同化による汚泥集約で想定される投入汚泥性状の変動に対して、自動制御により乾燥製品の含水率の安定化を実現し、低圧蒸気を熱源に用いることにより、燃料使用量を大幅に削減します



乾燥製品含水率自動安定制御

セキ板高さや蒸気圧力等の運転パラメータを自動制御することにより、安定した乾燥製品を製造を実現



投入汚泥の性状変動の試験 (例)

対象汚泥：混合生汚泥または嫌気性消化汚泥

投入汚泥性状：含水率：72~86%、有機分率：65%以上（乾燥製品を燃料利用する場合）

乾燥製品性状：含水率：20~40%

※性能発揮が期待できる汚泥性状には、一定の範囲があります。詳細はJSまでお問い合わせください。

《期待できる効果》

- ・汚泥性状の変動に対応して、乾燥製品を安定的に製造可能
- ・従来技術よりも燃料・電力使用量およびLCCの低減を実現
(※従来技術：かくはん機付熱風回転乾燥機、气流乾燥機、および間接加熱乾燥機)

《対応可能なニーズの一例》

- ・集約処理、広域処理等で生じる幅広い性状の汚泥を肥料化、燃料化して有効利用したい。
- ・消化設備を導入済み又は検討中等で消化ガスを補助燃料として有効活用したい。